



日本共産党
参議院議員

吉良よし子 国会報告

2025
9

誰も傷つけない、 希望の政治を

7月の参議院選挙で、3期目の当選を果たすことができました。

都議選に続き、多くのみなさんとともに東京で勝ち取った議席。消費税減税、学費、不登校、コロナ後遺症、気候危機…選挙で寄せられた数えきれない課題の解決に全力をあげる決意です。

そしていま、「差別を止めて」という声が大きく広がっています。選挙で、デマと差別をばらまく政党が台頭し、選挙後、政府までもが、留学生への支援はずし、外国人の強制送還など、差別と排外主義を助長する政治を進めている下で、その政治への抗議の声が広がっていることは希望です。

なにより、いまの生活が苦しいのは、庶民のくらしに見向きもしない自民党政治が

元凶です。だから、参議院選挙でも与党が過半数割れになったのではなかったか。差別と分断をあおる政治ではなく、一人ひとりの命と暮らしを守り抜く希望の政治へ、いまこそ力をあわせましょう。

吉良よし子



7月20日
若者や市民のみなさんと
当選を喜び合いました



2025年3月27日
参院予算委員会

日本共産党参議院
議員団長になりました



8月1日 新しい党参議院議員団のみなさんと

「変えたい！」 声を届け、政治を動かす

入学金“二重払い” 改善へ動かししました！

3月の予算委員会で、受験生の4割が入学金「二重払い」の当事者だという民間の調査をもとに、入学金による受験機会の不平等の解消を石破総理に求めました。6月、文科省が入学金「二重払い」の改善を求める通知を発出。その後、入学金の返還に応じる私立大学も出てきています。ひき続き、大学への予算を増やし、日本にしかない入学金制度の廃止をめざします。



3月14日 予算委員会

被爆80年 「核抑止」乗り越え、 核兵器廃絶を

3月、NY国連本部で開かれた、核兵器禁止条約の第3回締約国会議の内容を活かし、予算委員会で石破首相の「核抑止」の姿勢を真正面から追及。8月6日、広島市の平和祈念式典に参列。原水爆禁止世界大会@広島にも参加しました。



8月6日 日本共産党として、広島平和記念公園で原爆碑に献花

尊厳をもって生きられる社会へ

差別あおる政治ではなく、 希望の政治を

参議院選挙で、デマと差別をばらまく政治家や政党が増える中「差別を止めて」という声が大きく広がっています。いまのくらしが苦しいのは外国人のせいではなく、自民党政治がまちがっていたから。一人ひとりの尊厳とくらしをまもる政治を求め、選挙後も市民のみなさんと声を上げ続けています。

許されない！ 学生支援の 留学生はずし

7月、文科省が、大学の博士課程の学生支援から留学生をはずすことを決めたことに抗議の声が広がっています。「学びに国籍は関係ない」「差別を助長するな」と訴える学生のみなさんの抗議アクションや文科省への署名提出に私も参加しました。

学生の皆さんと
19300筆の
署名提出



7月25日
文科省前の抗議アクションに参加



「誰もが尊厳を持って生きられる社会へ」街頭宣伝で
8月4日 新宿駅東口で



子ども、保護者の切実な声をカタチに
日本共産党が

「不登校」についての 提言発表

ここ10年で3倍に急増している不登校。日本共産党は、子どもたち・親・教員・フリースクールの関係者・研究者などからの聞き取りを行い、「不登校」提言を5月に発表しました。

不登校についての提言 ポイント

1. **子どもの権利を尊重し、
子どもも親も安心できる支援を**
2. **過度な競争と管理をやめ、
子どもを人間として大切にする学校を**

不登校は子どもの急げや親の甘やかしのせいではありません。提言の二つの柱を力に、子どもを人として尊重する社会を目指します。



「提言」に寄せられた声

『子ども・親のせいではない』と明言していただき、過去の私が救われました。

不登校が介護休暇の対象とは知らなかった。広く知らせたい。



▲不登校についての提言

「不登校」提言をカに 対策を首相に迫る

6月9日決算委員会で、不登校になった子どもたちや親への支援と教育行政の抜本転換を求めました。

子どもには**休む権利**がある



吉良

学校に行けず、苦しんでいる子どもたちに休んでもいいとメッセージを。

「とにかく学校にいけ」とプレッシャーをかけることは事態の改善にはつながらない。人間として尊重されるために、学校を休むことも必要な場合がある。



石破首相

親への支援も欠かせない



吉良

不登校離職など不登校の親にも支援が必要。介護休業制度の拡充や不登校休業制度の創設を。

子どもが不登校に至っているケースも含め、基準に適合する場合は親が介護休業制度を利用することは可能。



厚労大臣

子どもも先生も学校にいけない、**教育の危機**



吉良

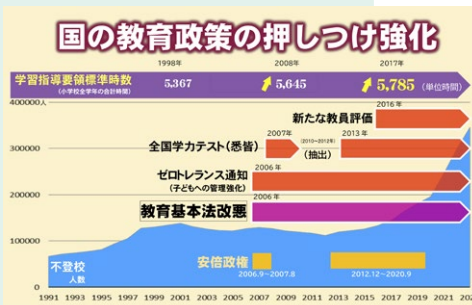
管理・競争をあおる教育政策の押し付けが現場を追い詰めているのではないか。

そういうことを押し付けているという認識はない。



石破首相

教育行政を変え、予算を抜本的に増やすべき



先生の長時間労働の 給特法改定法案に反対! 改善を!

公立学校の教員の残業代をゼロにする「給特法」は、教員の「働かせ放題」の温床となっています。教員の長時間労働をなくすためには、①残業代ゼロ制度をやめて、②教員定数をふやすことこそ必要だと、総理や文科大臣に迫りました。

3月24日 残業時間「3割減」はウソ 文教科学委員会

5月21日 本会議代表質問 参院本会議

5月22日 残業は労働時間か? 文教科学委員会

5月27日 文教科学委員会参考人質疑

5月29日 持ちコマ数削減、教員定数増 文教科学委員会

6月 3日 文教科学委員会参考人質疑

6月 5日 主務教諭問題、特別支援の教員手当 文教科学委員会、総理質問 文教科学委員会

6月10日 文教科学委員会採決 質疑、反対討論

6月11日 本会議採決 反対討論

論戦の内容は、
ミニ動画でご覧ください
こちらから▶▶▶



拙速な大臣認可の撤回を! 住民不在の 神宮外苑再開発に怒り



秩父宮ラグビー場の前で認可するなと声をあげる市民抗議アクションに参加

7月31日、神宮外苑再開発の要となる秩父宮ラグビー場の財産処分を、日本スポーツ振興センターが申請。わずか1週間後の8月7日に文科大臣が認可をしました。市民や有識者からの反対の声に耳を傾けない文科省に抗議し、認可取り消しを求めました。



「わたしたちには平等に生きる権利があるはず」のステートメントをかかげ、差別や偏見が根強く残る社会や政治を変えようと「TOKYO プライド2025」でアピール



「アイスランド大統領と考えるジェンダー平等のつくり方」(朝日新聞社×津田塾大×アイスランド大使館)アイスランド史上2人目の女性大統領ハトラ・トーマスドットイル大統領とトーク



若者協議会主催の民主主義ユースフェスティバルで、子ども、若者の声聴く政治をつくろうと高校生や学生と意見交換

YouTube 吉良よし子チャンネル 登録者1万人を超えました!



9月から新たに
ランチタイムLIVE
をスタート!

第2・4水曜日の
12:15~配信

アーカイブでも
観られます

「吉良よし子スタジオ」や「徹底解説」などの発信も
引き続きがんばります!



私たちが
がんばります!

